■病理遺伝子検査

～ホルマリン固定臓器・パラフィンブロック・生組織・塗抹標本・血液からの遺伝子診断～

項目名	※1 所要日数	検査項目の説明、注意事項	
リンパ球 クロナリティ検査（犬）	5日	B細胞、T細胞どちらが増殖しているかを判別する事でリンパ腫の予後予測や治療方針の決定に役立ちます。	**病理検査と同時に依頼、または病理診断後の依頼の場合** 1. 弊社で遺伝子検査に適切な部位をパラフィンブロックまたはホルマリン固定材料より採材し、検査を実施します。 2. **ホルマリン固定液の影響で判定不能となる場合があるので組織検査と同時に遺伝子検査を依頼される際、塗抹標本がある場合は合わせてお送りください。** 3. 病変が複数箇所ある場合、どの材料で遺伝子検査を実施するかを依頼書にご記入ください。ご記入がない場合は、代表部位から検査を実施します。 4. 複数箇所の材料すべてを遺伝子検査する場合には、1箇所増える毎に追加料金が発生します。
猫クローナリティ解析※2 （リンパ系腫瘍の遺伝子検査）	11日		
犬 BRAF 遺伝子変異検査※2	11日	膀胱の移行上皮癌、前立腺癌の検査。 膀胱移行上皮癌や前立腺癌を疑う症例で腫瘍性病変と非腫瘍性病変の鑑別の根拠となります。	
肥満細胞腫 c-kit 遺伝子変異検査（犬） exon11 の変異を検出します	5日	肥満細胞腫と診断された症例において、分子標的薬が有効かどうかを調べる遺伝子検査です。	
肥満細胞腫 c-kit 遺伝子変異検査（猫） exon8,9 の変異を検出します	5日		

※1 病理遺伝子検査を単独でご依頼頂いた場合の日数になります。
病理組織検査と病理遺伝子検査を同時に依頼された場合は、組織検査の所要日数＋遺伝子検査の所要日数となります。

※2 ケーナインラボ外注検査

〈病理遺伝子検査を単独でご依頼の場合の検査材料〉

生組織（生理食塩水に漬ける）	冷蔵でご送付ください。
ホルマリン固定臓器	常温でご送付ください。
塗抹標本	常温でご送付ください。
血液	犬 BRAF 遺伝子変異検査は不可。 EDTA またはヘパリンで抗凝固処理した全血を冷蔵でご送付ください。
パラフィンブロック	常温でご送付ください。
尿、尿沈査、膀胱洗浄液	犬 BRAF 遺伝子変異検査のみ。冷蔵でご送付ください。